



栄小学校だより

令和3年6月4日（金）

No.9

○避難訓練を実施しました。

6月2日（水）の5限目に全校児童が一斉に「地震を想定した避難訓練」を実施しました。

栄小学校では、避難訓練を定期的に行っています。訓練の規模も「全国」アラート避難訓練、「鈴鹿市緊急避難訓練」「学校独自の避難訓練」など実施する規模は違いますが、万一の時に正しい行動が取れること第一に考えて、日頃から行っています。

今回の避難訓練は「震度5の地震発生」を想定した訓練です。お隣の栄幼稚園との連携授業でもありました。授業では、防災学習と一次避難、二次避難、学校長講話を行いました。

防災学習・・・地震が起きた時の身の守り方を学習する。

一次避難・・・机の下に避難し、頭を守りながら机の脚をしっかりと持つ。

二次避難・・・「おはしもて」を行動の合言葉に

①おさない、②はしらない、③しゃべらない、④もどらない、⑤低学年優先

校長講話・・・阪神淡路大震災では6434名、東日本大震災では15899名の尊い命が犠牲となっています。「避難訓練」とはいえ、もっともっと真剣に機敏に行動を取って「自分の命」を守ってほしい。地震は、いつ起こるかわかりません。今日は、全員そろって避難訓練ができましたが、休み時間や登下校中に起きるかもしれません。先生方の指示が出せない時もあります。「率先者避難者たれ!」という言葉があります。臆病にならず、恥ずかしがらず、大きな地震が来たらまず一目散に天栄中へ逃げましょう。真っ先に逃げましょう。

【保護者へのお願い】

この栄地区では、津波が発生した場合、大部分が浸水被害地域となっています。日頃から、「有備無患」（そなえあればうれいなし）の気持ちで、各ご家庭でも防災グッズの確認や避難経路等を家族全員でお話し合ってください。

※「有備無患」・・・前もって、準備を整えておけば、いざというときに何事が起きても心配無用であるとのことわざ、故事成語です。「備えあれば憂いなし」との表記の場合もあります。



一次避難（左上）、運動場への避難（右上、左下）、避難完了（右下）

○暑くなってきました。熱中症にご注意ください。

6月になって気温も高くなってきており、マスクの着用時における熱中症や脱水症状などが心配されています。教室では、換気に気をつけながらエアコンを使用するなどして授業を進めていきますので、着用を推奨しますが、登下校時や休み時間に運動場で遊ぶ時などでは、自分の体調を考えてマスクの着脱をするよう子どもたちに話をしております。

これからの季節は、猛暑となる日もあり、熱中症等により一層注意を払っていきたいと考えております。ご家庭においても、お子様にマスクをしていて大変だった場面を聞いていただき、水分補給の大切さや、マスクを外した時は友だちの近くでしゃべらないなど、健康や周りの人への配慮についてお話いただけるとありがたいです。

○栄小で教育実習が始まります。

6月7日(月)より6月25日(金)にかけての3週間、教育実習生を1名、受け入れます。この実習は「教員免許状」を取得するために必要なもので、各大学の必要単位として2週間から4週間期間の実習が必要となるものです。鈴鹿市では、「未来の先生」の育成のため、卒業生を原則として受け入れをしています。2年生を中心に1年生から6年生の授業見学や授業をする予定です。コロナ禍の中ですが、健康管理等は教職員以上に気を付けてまいります。実習生の受け入れにつきまして、ご理解をお願いします。

○先生たちも勉強しています。

いくつになっても勉強です。

・6月2日(水)の2限目に2年生の教室にて授業研究を行いました。

鈴鹿市教育委員会事務局教育指導課 麻野知美先生に助言者としてお越しいただき、草道先生の国語の授業「かんさつ名人になろう」を見学しました。2年生のみなさんは、たくさんの先生が見学に来て、緊張したと思いますがしっかりと勉強できていました。

放課後には「校内研修会」として、見学した授業の振り返り等を行い、全教員が今後の授業をより良い授業にするための学習会をしました。



・6月3日(木)、放課後に栄小教職員が学校歯科医のスズカ歯科 早川久喜先生、津市健康福祉部子育て推進課 看護師 本田美奈先生を講師に迎え、救急救命講習を体育館で受講しました。毎年、プールの授業前に講習をしています。

